

## 公益社団法人日本地震工学会 第 37 回理事会議事録

A. 日時：2018 年 12 月 18 日（火） 15 時 00 分～18 時 00 分

B. 場所：建築会館 308 会議室

C. 出席者：（会長）福和伸夫，（副会長）鳥井信吾，塩原 等，清野純史  
（担当理事）佐藤吉之，中村洋光，岩本浩祐，山本雅史，入江さやか，平田京子，  
高橋章浩  
（監事）飯場正紀，當麻純一  
（事業企画委員会）境 茂樹，肥田剛典  
欠席：（担当理事）久保智弘，田村修次，末富岩雄，五十嵐晃，目黒公郎，  
中尾吉宏，宮腰淳一  
オブザーバ出席：（次期会長）中埜良昭，（事務局）小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D. 議題および提出資料：

### 議題

#### 報告事項

- |                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| 1) 第 36 回理事会議事録（案）確認（中村理事）            | 資料 37-01 |
| 2) 第 14 回正副会長会議報告（佐藤理事）               | 資料 37-02 |
| 3) 会務報告（佐藤理事）                         | 資料 37-03 |
| 4) 会計報告（岩本理事）                         | 資料 37-04 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事）                    | 資料 37-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小松事務局長代理報告）    | 資料 37-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（平田理事）                 | 資料 37-07 |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（山本理事代理報告）     | 資料 37-08 |
| 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事）           | 資料 37-10 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（境茂樹氏・肥田剛典氏代理報告）  | 資料 37-11 |
| 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜次期会長代理報告）     | 資料 37-12 |
| 12) 2019 年度大会に関する報告（福和会長代理報告）         | 資料 37-13 |
| 13) 研究統括委員会からの報告（清野副会長）               | 資料 37-14 |
| 14) 将来構想委員会からの報告（鳥井副会長）               | 資料 37-15 |
| 15) 第 7 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（福和会長） | 資料 37-16 |

### 議案

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（中村理事）      | 資料 37-17 |
| 第 2 号 共催・後援・協賛等（中村理事） | 資料 37-18 |

### 懇談事項

- |                                             |          |
|---------------------------------------------|----------|
| 1) 功績賞、功労賞の候補者について（福和会長）                    | 資料 37-19 |
| 2) 2018 年度活動報告、2019 年度活動計画・予算案の作成について（佐藤理事） | 資料 37-20 |
| 3) 次期理事会の体制について（佐藤理事）                       | 資料 37-21 |

## E.議事録：

### 報告事項

- 1) 第 36 回理事会議事録（案）確認（中村理事）
  - ・ 中村理事より資料 37-01 に基づいて第 36 回理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 2) 第 14 回正副会長会議報告（佐藤理事）
  - ・ 佐藤理事より資料 37-02 に基づいて第 14 回正副会長会議について報告がなされた。
- 3) 会務報告（佐藤理事）
  - ・ 佐藤理事より資料 37-03 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 会計報告（岩本理事）
  - ・ 岩本理事より資料 37-04 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 5) 広報部会からの報告（入江理事）
  - ・ 入江理事より資料 37-05 に基づいて広報部会の活動について報告がなされた。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小松事務局長代理報告）
  - ・ 小松事務局長より資料 37-06 に基づいて委員会の活動状況について報告がなされた。
- 7) 会誌編集委員会からの報告（平田理事）
  - ・ 平田理事より資料 37-07 に基づいて会誌 No.36 の発刊のスケジュールについて説明が行われた。また、会誌の執筆者への原稿執筆料に関する規定の改定案が審議され、次号から適用することで異議なく承認された。
  - ・ 会誌の残部の教育機関への配布について意見交換がなされた。
- 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（山本理事代理報告）
  - ・ 山本理事より資料 37-08 に基づいて第 7 回防災学術連携シンポジウムへのエントリーの内容について説明がなされた。
- 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事）
  - ・ 高橋理事より資料 37-10 に基づいて第 15 回日本地震工学シンポジウムの開催報告がなされた。大きな問題もなく盛会のうちに終わることができたことが報告された。参加者や収入が回を重ねるごとに少しずつ減っている状況にあること、開催初日午前中の参加者が少なかったことから、関東圏外で実施する場合には開始時間や基調講演開催日時に工夫が必要であったこと等のコメントもあった。
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（境茂樹氏・肥田剛典氏代理報告）
  - ・ 境氏より資料 37-11-1 に基づいて各分野の横断的なシンポジウムの企画（案）として、「現代都市の複合システムにおける性能設計と耐震性能評価」について説明がなされた。
  - ・ 内容として少し「信頼性」の方に偏ってしまった感があり、多面的な観点からの内容を入れるのがよかったのではないかとの意見があった。
  - ・ 収支としては問題なく、総合討論を盛り上げて欲しいとの意見があった。
  - ・ 資料 37-11-1 の中の「地震荷重の設定がばらばらであるが故に」はきつく、例えば「地震荷重の設定がそれぞれで」というようにしてはどうか、との意見があった。
  - ・ 肥田氏より資料 37-11-2 に基づいてセミナーの企画（案）について説明がなされた。
  - ・ 今回のセミナーの企画の経緯について事業企画委員会から説明して頂くのがよいとの意見があった。
  - ・ メニューを決めて毎年開催するような形をとるのがよいとの意見があった。
  - ・ 他学会での同様のセミナーの内容も加味して、事業企画委員会が主体的に企画するのがよいとの意見があった。

- ・ セミナーについては、その位置づけや今後の戦略も含めて、継続審議することとなった。
- 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜次期会長代理報告）
- ・ 中埜次期会長より資料 37-12 に基づいて 17WCEE に向けた準備状況について説明がなされた。
  - ・ 別料金でカンファレンス等を開催することについては、今のところ予定されていないとの説明がなされた。
  - ・ 会場については足りる見通しとの説明がなされた。
  - ・ 食事については、ランチボックスを用意することと、同時開催の震災対策技術展より食事のできる場所が拡張されることが説明された。
- 12) 2019 年度大会に関する報告（福和会長代理報告）
- ・ 福和会長より資料 37-13 に基づいて 2019 年度大会の企画について報告がなされた。
- 13) 研究統括委員会からの報告（清野副会長）
- ・ 清野副会長より資料 37-14 に基づいて「津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会」報告会等の報告がなされた。
  - ・ 「原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会」の報告会の延期については、共同で運営している日本原子力学会標準委員会との調整に時間を要しているとのことで承認された。年度を超えた延期であるため、委員会の延長申請が必要であることと、それに伴い次年度の予算を立てる必要があるとの意見があった。
- 14) 将来構想委員会からの報告（鳥井副会長）
- ・ 鳥井副会長より資料 37-15 に基づいて将来構想委員会からの提言について説明がなされた。
  - ・ 若手との意見交換を行う場については、あまり大人数にならず、例えば若手に地震工学の将来についてプレゼンしてもらって、懇談するような形が考えられるとの意見があった。
  - ・ 若手とは 10 年、30 年先を見据えた議論ができるとよいとの意見があった。
  - ・ 新年度入ってから早い段階で若手との意見交換会を開催するのがよいとの意見があった。
  - ・ 堅苦しくならず進めることが長続きさせるには大切との意見があった。
  - ・ 懇談のメンバについては可能であれば関連 5 学会、難しければ 3 学会でバランスよくした方がよいとの意見があった。
  - ・ 関東大震災から 100 年の企画についてもそろそろ考える必要があるとの意見があった。
- 15) 第 7 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（福和会長）
- ・ 福和会長より資料 37-16 に基づいて第 7 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会について報告がなされた。
  - ・ 懇談会の日程調整が難航したので、次回は早めに行うようにした方がよいとの意見があった。

## 議 案

### 第 1 号 入退会者（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 37-17 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 1 名、学生会員 5 名について異議なく議決された。また退会者として正会員 1 名について異議なく議決された。

### 第 2 号 共催・後援・協賛等（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 37-18 に基づいて共催 1 件、後援 2 件、協賛 1 件の名義使用依頼が報告され、異議なく議決された。

## 懇談事項

### 1) 功績賞、功労賞の候補者について（福和会長）

- ・ 福和会長より資料 37-19 に基づいて功績賞、功労賞の候補者推薦について説明がなされた。
- ・ 総務理事より推薦書のひな形を理事会メンバに送ることとなった。

### 2) 2018 年度活動報告、2019 年度活動計画・予算案の作成について（佐藤理事）

- ・ 佐藤理事より資料 37-20 に基づいて 2018 年度活動報告、2019 年度活動計画・予算案の作成について説明がなされ、年度報告、次年度計画、予算原案作成の依頼があった。提出締切は 1 月末。
- ・ 今年度で終了する委員会が多いので、新規委員会の提案が必要との説明がなされた。提案締切は 2 月下旬。
- ・ 新規委員会については既存学会を結びつけるもの、関東大震災から 100 年に関連するもの、南海トラフ地震の臨時情報に関連するものがあるとよいとの意見があった。

### 3) 次期理事会の体制について（佐藤理事）

- ・ 佐藤理事より資料 37-21 に基づいて次期理事会の体制、今後の選考について説明がなされた。
- ・ 事業（JEES）はなくなる。
- ・ 副会長 2 名、総務理事 1 名は中埜次期会長に推薦して頂く。
- ・ 会計理事については、岩本理事に推薦して頂く。
- ・ 情報（会誌）理事、学術（論文）理事は推薦者が決まっている。
- ・ 学術（国際）理事、事業（企画）理事の推薦については、総務理事からヒアリングを行う。

次回予定：第 38 回理事会 平成 31 年 3 月 15 日（金）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 30 年 12 月 18 日

議長 福和 伸夫

監事 飯場 正紀  
當麻 純一